

2 総 則

開催の趣旨

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものである。

愛媛県で開催する第72回国民体育大会「愛顔^{えがお}つなぐえひめ国体」は、「君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え」のスローガンのもと、県出身の手づくり選手が大活躍し、手づくりスタッフが支える「手づくりの国体」、県民のスポーツ活動（する、みる、支える）の活性化につながる「実になる国体」、既存の施設を最大限に活用するなど、簡素化に努める「身の丈にあった国体」、全国からの参加者と県民が民泊等により交流を深める「ふれあいの国体」、愛媛の自然や文化等の魅力を全国に発信する「愛媛らしさあふれる国体」という5つの理念のもと、県民すべての参加と協力を得て、県民がふるさと愛媛に誇りを持ち、愛媛の魅力を全国に発信する晴れやかな大会を目指して開催する。

実施方針

1 実施競技

正 式 競 技	特別競技
陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ	高等学校野球

2 会期及び会場地

会 期	会 場 地	会場地数
平成29年9月30日（土） ～10月10日（火） 〔11日間〕	松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、上島町、久万高原町、松前町、砥部町、内子町、伊方町、鬼北町、愛南町、兵庫県三木市、高知県芸西村	12市8町1村
※ 水泳、バレーボール（ビーチバレーボール）、弓道、カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）競技会は下記日程内で実施 平成29年9月9日（土） ～9月17日（日） 〔9日間〕	松山市、伊予市、高知県高知市、高知県本山町	3市1町

3 競技方法

各競技実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査及びアンチ・ドーピング教育・情報提供・啓発活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」及び別に定める「国民体育大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」(TUE)の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民体育大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が未成年者（20歳未満）の場合、本人の署名及び親権者の署名、捺印がある同意書を所持すること。

5 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

選手及び監督の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第72回国民体育大会参加資格、所属都道府県及び年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【 公益財団法人日本体育協会ホームページ <http://www.japan-sports.or.jp/> 】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ア) 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生又は生徒で、「8 参加申込み方法」で定めた参加申込締切時に1年以上在籍していること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」又は「家族滞在」（中学3年生）に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ウ)b について、大学及び専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）と体育（スポーツ）協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 第70回又は第71回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む）において選手又は監督として参加した者は、次の場合を除き、第70回又は第71回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

- a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者
- b 結婚又は離婚に係る者
[注]a及びbは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。
- c ふるさと選手制度を活用する者（別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）
[注]別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。
- d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」による。）

(イ) 少年種別

- a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者
- b 結婚又は離婚に係る者
- c 一家転住に係る者（別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）
[注]aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。
- d JOC エリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）
- e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」による。）

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 上記のほか、選手については次のとおりとする。

- (ア) 都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。
- (イ) 健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。
- (ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ク 上記のほか、監督については公益財団法人日本体育協会（以下「日本体育協会」という。）公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 勤務地
- (ウ) ふるさと（別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）
[注]別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

- (ア) 居住地を示す現住所

- (イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）
- (ウ) 勤務地
- (エ) 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、平成29年4月30日以前から本大会終了時（平成29年10月10日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

- a 別記4「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- b 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

- a 一家転住に係る者
- b 別記4「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ア) 成年種別に参加する者は、平成11年4月1日以前に生まれた者とする。

(イ) 少年種別に参加する者は、平成11年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた者とする。

(ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、平成29年4月1日を基準とする。

イ 日本体育協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた者）とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本体育協会及び当該競技団体が調査・審議のうえ、日本体育協会がその可否を決定する。

別記1【国民体育大会ふるさと選手制度】

(1) 成年種別年齢域の選手は、国民体育大会開催基準要項細則第3項〔国民体育大会開催基準要項第8項第1号及び第10項第4号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。

ア 居住地を示す現住所

イ 勤務地

ウ ふるさと

(2) 「ふるさと」とは、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOCエリートアカデミーに係る選手については、別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第3項により取り扱うものとする。

(3) 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者及び「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。

- (4) 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。
- なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- (5) 「ふるさと」から参加する選手は、国民体育大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③(国内移動選手の制限)に抵触しないものとする。
- (6) ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。
- (7) 参加都道府県は「ふるさと選手」を別に定める様式により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本体育協会宛に提出する。

別記2【「一家転住等」に伴う特例措置】

転校への特例

- 1 以下の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限(国民体育大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③(国内移動選手の制限)に抵触しないものとする。
- (1) この特例の対象は、少年種別年齢域への参加者に限る。
- (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
- なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
- ア 親の転勤による一家の転居
- イ 親の結婚、離婚による一家の転居
- ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
- (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
- ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県体育(スポーツ)協会(以下「都道府県体育協会」という。)及び都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
- イ 報告を受けた都道府県体育協会及び都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県体育協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
- (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
- ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
- イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
- ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
- (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
- ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3【JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置】

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、次の(1)に該当する者については、国民体育大会開催基準要項細則第3項〔国民体育大会開催基準要

項第8項第1号及び第10項第4号（参加資格及び年齢基準等）及び別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」に関し、次の(2)～(4)の特例を適用する。

(1) 対象者

- ア 少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者
- イ 成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

(2) 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

(1)アに定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

(3) 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

(1)イに定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」(2)に定める卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

なお、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

(4) 国内移動選手の制限に係る例外適用

(1)アに定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民体育大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

[注] (1)イに定める成年種別年齢域の選手については、国民体育大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

別記4【トップアスリーの国民体育大会参加資格の特例措置】

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリーの国民体育大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第31回オリンピック競技大会（2016年・リオデジャネイロ）に参加した者
- (2) 平成29年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者
 - ア JOC アスリートプログラム強化指定選手
 - イ 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者
 - ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手
 - ※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民体育大

会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

(ア) 平成 29 年 4 月 30 日以前から大会終了時（平成 29 年 10 月 10 日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

(イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

(ア) 平成 29 年 4 月 30 日以前から大会終了時（平成 29 年 10 月 10 日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。

(イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民体育大会開催基準要項細則第 3 項－(1)－1)－③のとおりとする。

別記 5 【東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置】

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県 の 6 県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 以下の選手及び監督は、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 平成 23 年 3 月 11 日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 災害が発生しなかったと仮定した場合、平成 29 年 4 月 30 日以前から各競技会終了時まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第 70 回及び第 71 回大会に当該特例対象県から参加していても、国民体育大会開催基準要項細則第 3 項－（１）－１）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 平成 23 年 3 月 11 日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。

もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が平成 29 年 4 月 30 日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本体育協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 72 回大会に参加した者が、第 73 回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民体育大会開催基準要項細則第 3 項－（１）－１）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

<例> ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民体育大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下の

いずれかを「ふるさと」として登録することができる。

- ① 卒業中学校または卒業高等学校の所在地
- ② 災害の発生した時点で在籍していた中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記②の学校所在地を「ふるさと」登録した場合についても、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

平成 23～24 年度に、避難等による移動先の属する都道府県において中学校または高等学校を卒業した者。

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

- (1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第 1 位から第 8 位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものに加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第 3 位以下を切り捨てる。

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
種別	4 人以下	24 点	21 点	18 点	15 点	12 点	9 点	6 点	3 点
	5 人以上 7 人以下	40 点	35 点	30 点	25 点	20 点	15 点	10 点	5 点
	8 人以上	64 点	56 点	48 点	40 点	32 点	24 点	16 点	8 点
種目	—————	8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点

[注] 「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は 10 点とし、大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

- (2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

- (3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民体育大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表 彰

- (1) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第 1 位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第 1 位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。
- (2) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第 1 位から第 8 位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (3) 各正式競技の男女総合成績第 1 位の都道府県に、国民体育大会会長トロフィーを授与する。

- (4) 各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (5) 各競技の各種別及び各種目などの第1位から第8位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、更にその都道府県名と個人名を記載したもの、又は都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 参加申込み方法

- (1) 都道府県の体育協会会長（代表者）及び各競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込みものとする。
- (2) 参加申込は、定められた締切日までに国民体育大会参加申込システムにより行う。
- (3) 参加申込締切日

締 切 日	競 技
① 平成 29 年 8 月 24 日（木）	水泳、バレーボール（ビーチバレーボール）、レスリング、セーリング、自転車、相撲、弓道、カヌー、ボウリング、ゴルフ
② 平成 29 年 9 月 6 日（水）	陸上競技、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレール射撃、なぎなた、高等学校野球

- (4) 参加申込様式は、日本体育協会が実施競技団体と協議の上、作成する。
- (5) 参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、次のア～ウ宛に所定の様式にて届け出なければならない。
 - ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局
 - イ 愛顔^{えがお}つなぐえひめ国体・えひめ大会実行委員会事務局
 - ウ 愛顔^{えがお}つなぐえひめ国体各競技会場地市町実行委員会事務局
 なお、日本体育協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

- (1) 本大会に選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県体育協会は、一人当たり次のとおり参加負担金を納入する。

区 分	負 担 金
少年の種別に参加する選手	1, 5 0 0 円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	2, 0 0 0 円

(2) 大会参加負担金は、各都道府県体育協会できりまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限

平成 29 年 9 月 6 日（水）

イ 納入先

みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729

公益財団法人日本体育協会

11 宿泊申込

大会参加者は、愛顔^{えがお}つなぐえひめ国体・えひめ大会実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込む。

12 都道府県選手団本部役員編成及び視察員

(1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア 参加選手 500 名以上の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 20 名以内とする。

イ 参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 15 名以内とする。

ウ 参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 10 名以内とする。

(2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。

(3) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。なお、帯同するスポーツドクターは日体協公認スポーツドクター資格を有する者とする。

(4) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、アスレティックトレーナーを帯同できる。なお、帯同できるアスレティックトレーナーは日体協公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。

(5) 都道府県選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記(1)及び(2)による人数を上限とする。

(6) 視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、平成 30 年以降の国民体育大会の開催が決定又は内定している県については、福井県 100 名以内、茨城県及び鹿児島県 60 名以内、三重県及び栃木県 40 名以内とする。

(7) 都道府県選手団本部役員及び視察員の参加申込は、平成 29 年 9 月 6 日（水）までに国民体育大会参加申込システムにより行う。

13 大会参加章、大会参加記念章及び視察員章の交付

大会参加章、大会参加記念章及び視察員章は、次の者に交付する。

(1) 大会参加章

都道府県選手団本部役員、監督及び選手並びに大会役員、競技会役員及び競技役員

(2) 大会参加記念章

公開競技・デモンストレーションスポーツ参加者

※ 公開競技参加者への交付は、中央競技団体との協議による。

(3) 視察員章

視察員

14 参加上の注意

- (1) 大会期間中は、交付された大会参加章、大会参加記念章又は視察員章を携帯しなければならない。
- (2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、所属都道府県を明示したユニフォームを着用しなければならない。

15 個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

日本体育協会、^{えがお}愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会実行委員会、^{えがお}愛顔つなぐえひめ国体各競技会場地市町実行委員会及び国民体育大会実施競技中央競技団体（以下「国体関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民体育大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国体関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) 総合プログラム及び競技別プログラムへの掲載
- (イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介
- (ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載
- (エ) 大会関連ホームページへの掲載
- (オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) ^{えがお}愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会実行委員会が設置する記録本部を通じた公開
- (イ) 国体関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載
- (ウ) 国体関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載
- (エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等】

(2) 肖像権に関する取り扱い

ア 写真

国体関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

国体関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国体関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD等に編集され、販売・

配付されることがある。なお、各競技における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民体育大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国体関係機関・団体と大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

16 都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

- (1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本体育協会及び中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本体育協会及び中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

- (2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。
- (3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込み。なお、参加は1人1競技に限る。
- (4) ブロック大会の申込みは、原則として国民体育大会参加申込システムにより行い、様式は日本体育協会及び当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

- (5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。
- (6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。
- (7) 競技運営に差し支えない限り、愛媛県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

17 国民体育大会参加者傷害補償制度

日本体育協会及び都道府県体育協会は、国民体育大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民体育大会参加者傷害補償制度を運営する。

- (1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会及び本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員並びにその他選手団役員とする。
- (2) 大会参加の都道府県体育協会は、国民体育大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり1,000円）を、日本体育協会に納入する。
- (3) 納入締切日及び納入先については別途日本体育協会から都道府県体育協会へ通知する。

18 文化プログラム

文化プログラムは、次表のとおりとし、実施については、「文化プログラム実施基準」に基づくものとする。

平成 29 年 3 月 2 現在

文化プログラム事業名	会場地
愛媛県美術館 所蔵品展	松山市
コスモシアター プラネタリウム番組	
松山市考古館 (常設展)	
おはなし会	
第 1 1 回企画展テーマ展示「好古・真之・子規—明治 2 0 年代初頭」(仮称)	
えひめを元気にするカルチャー 『ひめぶん文化祭』	
松山春まつり (お城まつり)	
(仮称) パステルアート作品展	
名嘉睦稔展 風の伝言(イアイ)を彫る	
若沖、琳派、かざりと雅 京都・細見美術館名品展	
庚申庵 ふじまつり	
第 6 3 回特別企画展	
発掘へんろ展「四国の埴輪」(仮)	
愛顔 (えがお) 感動ものがたり (作品募集・受賞作品巡回展)	
庚申庵 開園記念イベント	
ふれあいフェスティバル開催事業	
第 2 6 回二之丸薪能	
二之丸大茶会	
春の生活文化部展示会	
伊予の木工芸～出土木製品から見る木工の過去と現在～	
第 1 6 回えひめスポーツ俳句大賞	
愛顔 (えがお) つなぐフォト (絵画) コンテスト (仮称)	
ウェールズ美術館所蔵 ターナーからモネへ	
大連古代蓮の育成と写真展	
子規・漱石生誕 1 5 0 年記念 第 2 0 回俳句甲子園	
第 4 0 回記念愛媛女流書家連盟展	
愛媛の探検家・冒険家たち～未知への挑戦と開拓～ (仮)	
第 2 4 回市民ミュージカル (演目未定)	
「古代いよ発掘まつり」掘ったぞな松山 2 0 1 7	
「古事記」—國産み—	
近代日本画の精華 培広庵コレクション展	
権利擁護市民セミナー	
カブトムシツインドーム	
夏季子規塾	
松山港まつり三津浜花火大会	

文化プログラム事業名	会場地
古代体験まつり	松山市
第52回松山まつり	
ふれあい将棋大会	
福祉サポートフェスタ	
タイムスリップ！64年前の国体@堀之内	
安倍能成を知る	
全国スポーツ写真展	
安倍能成～学習院中興の祖と称された偉人～	
紫舟作品展	
侍の美（仮）	
国体・スポーツ関連図書企画展示	
第52回子規顕彰全国俳句大会	
糸瓜忌	
福祉のつどい開催事業	
庚申庵 湯豆腐忌	
松山市民文化祭 第36回美術展	
えひめ愛顔（えがお）の子ども芸術祭2017	
愛媛県県民総合文化祭	
庚申庵観月会	
のぼさんとあそぼ秋祭り	
休日県庁見学デー（県庁本館米寿記念イベント）（仮称）	
野外活動センターまつり	
第35回子規顕彰全国短歌大会	
松山市民文化祭 第36回芸術祭	
レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展	
「古代いよ発掘まつり」いにしへのえひめ2017	
障がい者ふれあいスポーツ大会	
秋の生活文化部展示会	
若草福祉まつり	
愛媛人物博物館冬季企画展「生誕150周年記念～柳原極堂 所蔵品展」（仮）	
北条社会福祉センターまつり	
愛顔（えがお）ひろがる えひめの障がい者アート展	
ふれあいの祭典	
Dance Battle in Matsuyama vol. 5	
ビブリオバトル	
「星の音楽会」幼児と楽しむクラシックコンサート	
島四国へんろ市	今治市
いまばり緑化フェア2017	

文化プログラム事業名	会場地
半島四国八十八ヶ所めぐり	今治市
今治地方春祭り	
バラ祭りよしうみ2017	
三島水軍鶴姫まつり	
水軍レース大会	
今治市民のまつり「おんまく」	
今治ジャズタウン	
今治市美術展覧会（市展）	
第17回瀬戸内しまなみ海道スリーデーマーチ	
菊間祭り（お供馬の走り込み）	
今治文化芸術祭	
大山祇神社抜穂祭	
2017桜井・湯ノ浦温泉まつり	
県展今治移動展	
国指定重要文化財 宇和島城天守	
名勝 天赦園	
重要文化的景観 遊子水荷浦の段畑	
畦地梅太郎記念美術館・井関邦三郎記念館	
吉田ふれあい国安の郷	
宇和島市立歴史資料館	
宇和島市立城山郷土館	
日本庭園 南楽園	
定期闘牛大会	
いのちの写真展～僕たちは ここにいる～	
宇和島市立伊達博物館 春期特別展	
天赦園 春の呈茶会	
伊達なうわじまお城まつり	
仙台フィルメンバーによる名曲の夕べ	
吉田町夏祭り	
和霊大祭・うわじま牛鬼まつり	
コスモス名曲コンサート2017	
茨城県立大洗高校マーチングバンド演奏会宇和島公演	
第50回三間町納涼大会	
つしま夏祭り	
宇和島市立伊達博物館 秋期特別展	
第7回オープンスペースきゃっち写真展	
吉田町芸能祭	
第59回宇和島市民文化祭	

文化プログラム事業名	会場地
吉田の産業祭り「きはなはいや吉田三万石2017」	宇和島市
第13回美沼の里産業文化まつり	
吉田町文化祭	
第44回津島町文化祭	
吉田秋祭り（吉田おねり行列）	
第30回みま町コスモスまつり	
第28回宇和島市産業まつり	
第7回オープンスペースきゃっち写真展	
真穴の座敷雛	八幡浜市
川名津柱松神事	
国指定重要文化財 梅之堂三尊仏一般公開	
中津川百矢祭	
第42回二宮忠八翁飛行記念大会	
やわたはまみなと夏祭り 第30回てやてやウェーブ	
五反田柱祭り	
第47回八幡浜みなと花火大会	
保内秋祭り・三島神社秋季大祭	
公立美術館共同巡回展「日本画山脈 再生と革新～逆襲の最前線」	
第14回唐獅子・五ツ鹿共演大会	
八幡浜みなと祭り	
二宮敬作ウォーク	
あかがねミュージアム新居浜文化展示	
地衣類・コケだけどコケじゃない藻類？菌類？-	
100均☆自然史グッズ巡回展	
東洋のマチュピチュ「東平」バスツアー	
第50回にいはま春の市民文化祭美術の部	
第50回にいはま春の市民文化祭芸能の部	
カハクンの大宇宙旅行展	
わくわくミュージアム	
春は子ども天国	
ゆらぎの森パーゴラ藤祭り	
しゃく薬まつり	
喜光地夜市・稲荷市	
第8回マリン村	
特別展「カハクンのえひめスポーツ科学（サイエンス）」	
第60回にいはま納涼花火大会	
かはくプレゼンテーション大会	
第37回にいはま夏まつり	

文化プログラム事業名	会場地	
夏だ！おもしろ実験まつり	新居浜市	
鹿の子百合まつり		
サマーフェスティバル i n マイントピア別子		
障がい者文化芸術祭		
新居のいもだき		
東予産業遺産（仮）		
新居浜太鼓祭り		
太陽のふしぎ		
ウォーキング事業		
第10回郷土芸能発表会		
イルミネーションライトアップ		
第67回新居浜市美術展覧会		
ゆらぎの森もみじ祭り		
第62回秋の芸術祭		
マイントピア別子冬の桜まつり物産展		
「新居浜美術の新時代と住友」展		
にぎわい商店街ライトアップ		
エネルギー体験ラボ（仮）		
第41回にいはま農業まつり		西条市
産業文化フェスティバル		
西条アートフェスティバル		
小松町ふるさと祭り		
丹原七夕夏まつり		
夏彩祭		
西条まつり ・飯積神社祭礼・嘉母神社祭礼・石岡神社祭礼・伊曾乃神社祭礼・小松秋まつり ・東予秋まつり・丹原秋まつり・綾延神社社殿中奴・磐根神社毛槍投げ奴		
カブトガニフェスティバル		
東予地区米まつり・魚まつり		
西条市産業祭		
西条地域秋季市民芸術文化祭		
丹原町産業まつり		
スノーカーニバル i n 石鎚		
赤橋自遊空間	大洲市	
ポコペン横丁		
長高水族館		
花木展		
しゃくなげ俳句大会		

文化プログラム事業名	会場地	
うかい	大洲市	
春の鹿野川湖フォトコンテスト		
ながはま赤橋夏まつり		
山鳥坂夜神楽		
かわべふるさと祭り		
えひめYOSAKOI祭り		
いもたき		
わらじで歩こう坂本龍馬脱藩の道		
河辺ふれあいフェスタ2017		
大洲まつり		
五色浜夜桜まつり		伊予市
谷上山さくらまつり		
いよし花まつり		
伊予市市民文化講演会		
「ほたるの里ふたみ」ほたるまつり		
伊予中山ホテルまつり		
双海の夏祭り		
なかやま夏まつり		
伊予彩まつり		
伊予市トライアスロン大会 in ふたみ		
夕焼けプラットホームコンサート		
しもなだ鱧祭り		
なかやま栗まつり		
いよ市民総合文化祭&ふるさとフェスティバル		
上灘公民館まつり		
下灘公民館まつり・双海芸能発表会		
なかやま芸能発表会		
紙のまち資料館	四国中央市	
紙産業に関する展示と水引体験コーナー		
三島公園桜まつり		
城山公園桜まつり		
すすきヶ原入野公園花祭り		
向山公園桜まつり		
お茶祭り		
2017しこちゅ〜スポーツフォトコンテスト		
新宮あじさい祭り		
かわのえ夏まつり花火大会		
みなと祭踊り大会		

文化プログラム事業名	会場地
みなと祭花火大会	四国中央市
第40回四国中央紙まつり	
第10回書道パフォーマンス甲子園	
土居夏まつり	
シルク博物館（常設展）	西予市
姉妹館提携30周年記念事業	
城川地質館（常設展）	
愛媛県歴史文化博物館 常設展示	
新常設展示「密●空と海―内海清美展」	
テーマ展「久万高原町発掘50年の足跡」	
末光家一般公開	
特別展「迷路絵本 香川元太郎のフシギな世界」	
第41回宇和れんげまつり	
どろんこ祭り	
第23回かまぼこ板の絵展覧会	
特別展「トリックアート 大江戸物語」	
障がい者文化芸術祭	
かっぱMATURIサマーin明浜2017	
第35回奥地の海のかーにばる	
第13回奥伊予盆踊り花火大会	
野村納涼花火大会	
特別展「高虎と嘉明-転換期の伊予と両雄-」	
テーマ展「相撲の歴史と民俗-館蔵品を中心に」	
西予市総合文化祭	
第166回乙亥大相撲	
あけはまシーサイドイルミネーション2017	
朝霧ロードイルミネーション	
坊っちゃん劇場	東温市
源太桜まつり	
東温市商工会産業まつり	
除ケの堰堤こいのぼり架け渡し	
スイーツマラソン・とうおんファミリーフェスティバル（仮称）	
上林水の元そうめん流し	
横河原土曜夜市	
さくら市場納涼祭	
観月祭	
どてかぼちゃカーニバル	
白猪の滝まつり	

文化プログラム事業名	会場地	
とうおんゆったりサイクリング	東温市	
第32回かみじまふるさと夜市	上島町	
魚島秋祭り		
久司浦秋祭り		
佐島秋祭り		
生名秋祭り		
岩城秋祭り		
下弓削秋祭り		
上弓削秋祭り		
引野・明神秋祭り		
上島町文化公演会		
創作こけしの世界（仮称）		久万高原町
春の企画展「石鎚山の高山性植物」		
久万美コレクション展Ⅰ		
石鎚天狗太鼓		
三島神社夏祭り（久万山五神太鼓）		
特別展「巨大昆虫・微小昆虫」（仮称）		
久万納涼まつり		
ペルセウス座流星群を見よう		
みかわ納涼まつり		
自主企画展「Crossover-秩序と混沌」		
やなだに産業まつり		
中秋観月会（仮称）		
秋の企画展「面河溪 きのこ写真展」		
久万林業まつり（久万文化祭）		
面河ふるさとまつり		
愛顔（えがお）つなぐえひめ国体・大会松前町手作りパネル展	松前町	
義農祭		
松前港祭り		
2017 明るい人権のまちづくり大会		
まさき町夏祭り		
障がい者文化芸術祭		
第5回まさき町産業祭り 「たわわ祭」		
2017 松前町第九演奏会		
砥部焼伝統産業会館 常設展	砥部町	
砥部陶街道五十三次スタンプラリー		
砥部焼体験（砥部焼陶芸館）		
砥部焼体験（砥部焼観光センター炎の里）		

文化プログラム事業名	会場地	
砥部焼体験（砥部町陶芸創作館）	砥部町	
とべ楽市		
砥部焼まつり		
ほたるまつり		
井部悠紀三絃演奏会		
「すべての人に真民詩を」展		
坪内家流しそうめん		
権現山流しそうめん		
広田七夕まつり		
第10回ピアノ分解教室『ピアノの中をのぞいてみよう!』		
第16回ピアノリレーコンサート		
ダンスパフォーマンス in 砥部 Vol. 3		
秋の砥部焼まつり		
砥部陶街道文化まつり		
自然薯（じねんじょ）まつり		
第11回チャリティフェスティバル		
川登川まつり・筏流し		内子町
いかざき大凧合戦		
第32回燈籠まつり		
第61回内子笹まつり		
寺村山の神火祭り		
尾首の池月を愛でる会		
八日市町並観月会		
ドイツフェスタ		
長田食の文化祭		
石畳水車まつり		
立川地区 文化産業祭		
小田の郷ふるさとまつり		
第37回五十崎文化祭		
大瀬農業祭柿まつり		
内子町伝統芸能まつり		
もお〜モオ〜フェスティバル	伊方町	
佐田岬灯台点灯100年祭 兼 佐田岬はなはな祭り		
海のつどい		
佐田岬ふるさとウォーク		
きららまつり		
きなはいや伊方まつり		
瀬戸の花嫁まつり		

文化プログラム事業名	会場地
サイクリング佐田岬	伊方町
風車まつり	
三崎地区秋祭り	
瀬戸地区秋祭り	
伊方地区秋祭り	
風のまつり	
佐田岬マラソン大会	
しあわせイルミネーション	
奥内の棚田及び農山村景観	
芝不器男記念館	
目黒ふるさと館	
河後森城史跡見学会	
第28回まつの桃源郷マラソン大会	
森の国の夏祭り2017	
松野四万十バイクレース2017	
森の国文化祭	
森の国戦国武者伝走	
明星が丘施設常設展	鬼北町
山岳信仰遺跡めぐりトレッキング	
穂田るの里の幻灯火	
成川溪谷ピザ祭り	
四万十・源流広見川上り駅伝大会	
ひよし星降るキャンドル・鬼の里の夜神楽	
等妙寺ウォーキング	
きほく作品展	
きほく芸能まつり	
宇和海展望タワー	愛南町
紫電改展示館	
ぎゅぎゅっと愛南！夏の陣～海と山を喰らう～	
愛南町城辺夏まつり	
久良の能山踊り	
愛南町御荘夏まつり	
はなとりおどり	
愛南町の秋祭り	
愛南町文化祭	
トレッキング・ザ・空海あいなん	
正木の花取り踊り	

19 公開競技

公開競技は、次表のとおりとし、実施については、「国民体育大会公開競技実施基準」に基づく実施要項による。

公 開 競 技	会 場 地
綱引	四国中央市
ゲートボール	松山市
パワーリフティング	伊予市
グラウンド・ゴルフ	松山市

20 デモンストレーションスポーツ

デモンストレーションスポーツは、次表のとおりとし、実施については、「国民体育大会デモンストレーションスポーツ実施基準」に基づく実施要項による。

デモンストレーションスポーツ	会 場 地
アームレスリング	今治市
合気道	今治市
インディアカ	砥部町
ウォーキング	上島町
エアロビック	四国中央市
カーリング	松山市
カヌーツーリング駅伝	大洲市
カローリング	八幡浜市・新居浜市
近代3種	松野町
クライミング	西条市
グラウンド・ゴルフ	久万高原町
ゲートボール	松野町
3B体操	松山市
スポーツチャンバラ	松山市
スポーツ吹矢	砥部町
ターゲット・バードゴルフ	伊方町
ダーツ	松山市
ダブルダッチ	今治市・宇和島市
ディスコン	松山市
トランポリン	鬼北町
日本拳法	今治市
ノルディック・ウォーク	西予市
パラグライダー	内子町
バウンドテニス	新居浜市
ビリヤード	松山市
ブラインドテニス	松山市
ペタンク	松山市
マリンスポーツ	愛南町

※会場地数は9市、8町

21 その他

- (1) 参加申込及び宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、又は、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。
- (2) その他の事項については、国民体育大会開催基準要項及び同細則による。